

2014年3月27日/千葉大学附属図書館I棟1階コンテンツスタジオ
2013年度アカデミック・リンク・セミナー(第5回)
「学生たちは新しい学習環境をどのように使い、どのように学んでいるのか」
参加者アンケート集計結果

当日参加者数：67名 アンケート提出数：48件

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・机の種類（長方形など）で調査を行ったのは面白かったと思います。フォト・ボイス調査というのは、他に聞いたことがなかったので参考になりました。
- ・空間を構築したのちに、あらゆる角度から評価、検証している姿勢、勉強になりました。
- ・学生を「見守る」という姿勢を見習っていきたいと感じました。
- ・図書館からの広報だけでなく、学生行動から分かることが多いと感じました。
- ・教職協働の重要性
- ・それぞれの知見を尊重し、活用することの大切さ
- ・写真インタビューによる調査は興味深い内容でした。
- ・フォト・ボイス調査は学生の学習実態を把握する上でとても面白い方法だと思いました。
- ・学生の学習行動に関するアンケートは参考にしたい。
- ・質的・量的調査のどちらかに偏っては見えないもの、取りこぼすものが多そうだとことを改めて実感しました。
- ・観測分析の手法、取り組まれている現状はよくわかりました。
- ・「貸出率のみで“利用”をみることの危うさ」で表現される、これまでの評価手法では埋もれてしまっている大切にすべき部分があること
- ・実際にどのように利用されていて、学内外を問わず学生がどのように学習しているかをイメージできてよかったです。特に横断的に検証されていてよかったです。
- ・調査をすればするほど新しい課題が見つかる。面白いですね。
- ・学生を観察する、聞くことが大切である、と改めて思いました。
- ・学内外の“生活”、“学習”を知ることも大切なのだなど。
- ・様々なアウトカム評価の方法を知ることができました。
- ・質的調査と量的調査を組み合わせると総合的に分析しようという姿勢はすばらしいと思った。
- ・データ分析をされていることで、ラーニングコモンズでの学びの成果が、感覚ではなく、数字として証明されている点
- ・空間の中で、机の配置方法により動かされる度合いが異なるという事実
- ・アンケート調査において、信頼性をはかるために客観データとぶつけるということをやっておられたので、そういった手法があるという発見になった。その他の調査においても、定点観測やブックトラックなど、とても興味深い内容でした。
- ・学習環境の数値化の手法について、大変参考になりました。
- ・RFIDの使い方について工夫されていることがわかった。

(次頁に続く)

- ・アカデミック・リンク・センターの取り組みが理解できました。
- ・現在は図書館で学生どうしの **interaction** 活動もできるようになっているのですね。
- ・フォト・ボイス調査が興味深かった。
- ・フォト・ボイスが新しい発見であった。
- ・新しい学習環境の有効性
- ・「どのように使い、どのように学んでいるのか」を様々な角度でデータ化していることはわかりやすかった。
- ・アカデミック・リンク・センターの活動に注目しているが、今回はこれまでにない公的手法が、用いられていて感銘を受けた。ラーニングコモンズに関して漠然と感じていたことにデータの裏付けが得られた。
- ・カメラによる定点調査やフォト・ボイス調査など学生のリアルな学習活動を知ることができ大変参考になりました。学習の進度（理解度）や方法については学生によって様々のため、従来の講義だけでは補いきれないものがあると思います。そこからあふれた学生の学習の意欲や不足分の学習を保管する場として、アカデミック・リンクが機能していることが、とてもよく分かりました。今後の社会の流れ、ICT の発展に伴い、学生の学習する方法は変化し続けると考えられるため継続的な調査、分析が必須であり、空間（環境）が現状維持してしまうことの恐さも感じる事ができました。
- ・ランダム配置調査に於ける机形状の利用実態が良くわかりました。
- ・学生の行動に個人差が大きいこと、学年、学部によって行動に違いがあること。
- ・学生は課題外の学習も能動的に色々行っていること。
- ・貸出記録からは分からない蔵書の利用率の調査について新しい視点を得ることができた。
- ・人の動き、本の動きからどのように利活用されているかという調査は興味深い。
- ・千葉大学の学生がどのようにセンターを利用しているのか、定量データとともに示してもらい、納得感のある知見を得られました。
- ・図書館での学習空間の利用について、天板形状の差が可動の有無にかかわるといのが興味深かった。
- ・学生の学習方法を調査する手法にはさまざまなやり方があるのだということを知ることができたのがとてもありがたかったです。
- ・行動から何をすべきかの分析手法は大変だが大切と感じた。
- ・詳細な調査が大変興味深かったです。机の配置の話など。
- ・学生の学び方がいろいろな面から良く分かりました。
- ・グループワーク課題を出しただけでは協働しない。
- ・貸出はなくても閲覧されているという利用状況が分かるのはサービスを考える上で役立つと感じました。
- ・学生がどのような場で勉強したいか、どのようなことを考えているのかがわかり、勉強になりました。
- ・「RFID を用いた～」が素晴らしいです。
- ・学生はすみっこが好き、という事が裏付けされたと思いました。（定点観測カメラ）

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・今後、調査された結果を、具体的な改善にどう活かされるか、おうかがいしたいと思います。
- ・2012→2013 へ貸出、入館とも下がっているが、入館者の滞在時間のデータ等に変化はあるか？
- ・誰が何回入館、来館したかは、学生証をかざすために、把握できるのでしょうか？→白川さま
（→補足回答：千葉大学では学生証を図書館の入館証として利用しているため、誰が何回入館したかを把握することができます。）（次頁に続く）

- ・RFIDはナビコーナーの本のみですか？（→補足回答：授業資料ナビコーナーにのみ導入しています。）
 - ・メインのタイトルをクリアにできるものは、まだつかめていないと思った。
 - ・空間を近接されることが好ましいという結論の効果
 - ・困っていることなど教えてもらいたかったです。
 - ・聞き逃したのかもしれないのですが、質的調査のサンプリング
 - ・ブックトラックの調査でN棟とそれ以外でどのような差があるのか興味があります。
 - ・統計学的知識が全くなし。もう一度配布資料を読み直すつもり。
 - ・特にありません。
 - ・よく分かった。
 - ・新しい学習環境ができる前との比較（学生の実態）
 - ・新しい学習環境の目標
 - ・従来の図書館と比較して利用方法（どのように使い、どのように学んでいるか）がどう変わったのかよくわからなかった。
 - ・アカデミック・リンク・センターが学生に与える（もしくは与えた）影響についての具体的な情報が欲しいと感じました。
 - ・アカデミック・リンク・センターを多く利用する学生の学習に対する意欲がどのように変化したかなどを調査する術があるのならば知りたいと感じました。
 - ・定点観測について、告知はしたとのことでしたが、貸出データや書架の本を見たデータを分析していることについては、学生は知っているのかと思いました。
- （→補足説明：調査開始時に図書館内に掲示を行い、データ利用について学生等へ告知しました。また、当該告知の際に、データ分析対象として外れることを希望できることをあわせて伝えていきます。）
- ・データ収集の内容はよく伝わりましたが、データから得られる仮説や今後の課題、展望等、仮説レベルでも提示いただけるとよりありがたかったです。
 - ・人的サービスの状況
 - ・「新しい学習空間はどのように～」机の配置ですが、“ランダム配置”ではない期間において、開館時の基本位置というのは定まっているのでしょうか。それとも前日の開館時の状態で一日がスタートするのでしょうか。（→補足回答：ランダム配置ではない期間では、開館時の基本位置というのは定まっておらず、前日の閉館時の状態で一日がスタートします。）

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・各空間別の利活用について。
 - ・今回のテーマ
 - ・人的サービスに関する認知度の低さに対して、単純に認知度を上げれば良いという答えではないと思われるので、その辺の答えがあれば。
 - ・ラーニングコモンズのゴールは？
 - ・ラーニングコモンズでは何ができれば成功で、何ができなければ失敗なのか。
 - ・ラーニングコモンズでの学習は成績の向上に結びつくのか。
 - ・図書館内にアクティブラーニングスペースがあるところと、図書館外にアクティブラーニングスペース（コモンズ）を設置しているところで、学生の行動にどのような差があるのか、トークセッション（意見交換）するような企画
 - ・正課や他部署との連携における成功事例について
 - ・結論的なものが出ましたら参加させていただきたいと思います。
- （次頁に続く）

- ・「参考図書」＜電子版を含む＞の紹介・最新の利用法の話などは伺いたいテーマ
- ・研究支援について
- ・今後の成果の継続的な評価
- ・今後 MOOC などを活用した学習に対応する環境の整備などについてのお考えがあれば、そのようなセミナーには是非お邪魔したいと思います。
- ・「必要とされる環境・コンテンツ・サービス」の第二回を期待します。
- ・学生の学習を支援するための図書館と教育支援部門教員との連携の在り方（図書館は場所の提供だけがメインとなる傾向にある。）
- ・今回のご報告の内容について、継続的に情報公開いただけるとありがたいです。
- ・竹内センター長のお話を聴く機会があると嬉しいです。
- ・教員から見た話（学生の協働学習の変化等）も聴きたいです。
- ・今回の分析の経過が知りたいです。

4. 本日のセミナーの内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- ・当図書館でも夏に調査を予定しているので、参考になりました。
- ・國本先生の説明が最初の方がわかりやすかったと思いました。
- ・とても勉強になり楽しい時間でした。
- ・プロジェクトの全体図を、最初にお示しいただけたらより理解しやすかったです。
- ・学習の指標を定めるのは難しいと思いますが、今後の活動に期待しています。
- ・とても有意義でした。ありがとうございました。
- ・一部目的がよくわからなかった、調査結果もあったので、最終報告に期待したい。
- ・積極的に情報公開いただき、感謝しております。
- ・仕器と学生の行動に相性がありそうという部分に興味があります。（國本先生部分）
- ・自由度の高い空間
- ・千葉大として他にも同様の施設を検討しているかどうか。
- ・できればパウボにページ番号が欲しかったです。質問しにくくて。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ALC や図書館に所属している教職員がそれぞれ分析や調査に携わっておられることに感銘を受けました。通常業務（運営部分）だけでも相当の負荷がかかっている上でのことだと思うので、皆さんの熱意や努力は素晴らしいと思います。負けないように我々もがんばらないと、と力を頂きました。
- ・非常に勉強になりました。本学に持ち帰り、できることから始めていきたいと思います。
- ・本学でも“評価”という部分が力を入れていきたい事柄です。今回のセミナーの内容を参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。最後の國本先生の分析が非常に面白かったです。
- ・千葉大図書館は学外の人間にも開放されているのですね。これからは利用させていただきたいと思っています。本日は良い刺激になりました。
- ・様々な調査データが大変勉強になりました。
- ・このデータをどう活用していくのか、今後に期待したい。
- ・年度末に来るのは大変でした。
- ・学生がどこで学習しているかは、本セミナーの調査報告でよく分かりましたが、学生がどこで学習したいのか？もし次回の調査項目に入れていただければ幸いです。（次頁に続く）

- ・アカデミック・リンク・センター内の環境やコンテンツ（書籍）をいかに活用しているのか、何が課題なのかを期待されたセミナーであった。いろいろな視点でとらえられており、今後の展開も楽しみである。
- ・学生の学び方等を分析し、さらなる向上を目指されている点が素晴らしいと感じました。また次回の発表を楽しみにしています。
- ・まず、ALCの概要を説明していただき良かった。
- ・膨大なデータ取得と分析、大変なプロジェクトと思いますが、惜しみなく公開して頂けて本当に感謝です。
- ・教職員の協働による体系的なプロジェクトは素晴らしいと思いました。特に図書館員の皆様はルーチン業務＋αで本当に大変だと思いますが、今後がんばってください。

5. 次の（１）、（２）について、該当するものに○をつけてください。

（１） a. 学外から参加 46名 b. 学内からの参加 0名 回答なし 2名

（２） a. 学生 0名 b. 教員 3名 c. 大学職員(図書館職員を除く)5名 d. 図書館職員 16名
e. 出版関係 1名 f. その他 20名 回答なし 3名

6. セミナーを何で知りましたか？

a. Web(アカデミック・リンク・センター) 13名 b. Web(図書館) 2名 c. Web(千葉大学) 1名
d. 図書館内電子掲示 0名 e. ポスター 0名 f. センターからのメール 15名 回答なし 1名
g. Facebook・Twitter 1名 h. その他 15名(知人からの案内、国大図協から)

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。（既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です）

お名前：()

ご所属：()

電子メールアドレス： 申込時に申請したもの それ以外()

ご協力ありがとうございました。

※24名が新規に継続的な情報提供を希望